



サイジャーナル

月刊
3-9-10
第459号

日本サイ科学会 令和3年9月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒455-0053 名古屋市港区 名四町113 眞 野 博 英 ☎ 090-9196-2963	北 陸 〒920-0031 金沢市広岡2-7-25 プレミス金沢駅西口1 804号 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 2034	関 西 〒545-0034 大阪市阿倍野区 阿倍野元町1-2 和 田 高 幸 ☎ 06 (6624) 0569・FAX 06 (6624) 5061	九 州 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159
--	--	---	---	---

※7月25日(日)から9月12日(日)に延期となりました通常総会、本部例会ですが、さらに緊急事態宣言が9月12日(日)まで延長となり、コロナの第5波が来ておりますので、事態がかなり改善されない限り、中止になる可能性が高くなりました。

その場合、9月5日(日)の週に公式サイトでお知らせ致しますので、ご参加予定の方は事前にチェック願います。

通常総会は年度初めの6月開催の公式行事であり、これ以上延期することは出来ませんので、今年度は特別措置として、理事会承認をもって、2021年度の通常総会の代替とさせていただきますので会員の皆様にご了承をお願い申し上げます。

もしその場合、志賀一雅先生の御講演は12月の本部例会に延期させていただきます。

九月通常総会・本部例会のお知らせ

※会員は午後1時30分から通常総会、一般の方は午後2時からの

本部例会からご参加願います。

日時 令和3年9月12日(日)

午後1時30分～2時 通常総会
午後2時10分～4時40分 講演

会場 北とびあ9階901会議室
交通 J R 京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル
会費 会員二千円(当日入会可)
一般三千円 学生一千円

講演

ESPやPK現象を脳波で
解明する！

講師 志賀一雅氏

ESPやPK現象は現代科学ではそのメカニズムが十分に解明されないまま未科学現象として好奇の対象だけで片づけられています。しかし日常の生活ではESPやPK現象を頻繁に活用しているのですから、計測可能な脳波を介在させて現象の解明を試みてきました。その結果、電離層にあるヴァンアレン帯のプラズマ振動によって

今月号の記事

◎九月通常総会・本部例会のお知らせ

◎御寄付御礼

◎九州日本サイ科学会新会長就任のご挨拶

◎九州日本サイ科学会前会長退任のご挨拶

★創立45周年記念大会プログラム

◎関西日本サイ科学会9月～11月
研究集会のお知らせ

◎第44回宇宙生命研究分科会予告

◎令和元年9月本部例会の報告Ⅲ

◎第四五九回関西サイ科学会報告

◎第四五八回関西サイ科学会報告

◎健康で長寿の生き方

◎意識が物質化して、物質の作用を助けている

◎気づき

発生する4種類の電磁波(7.8Hz, 13.6Hz, 19.8Hz, 25.4Hz)と脳波に含まれる周波数とが共鳴したときにESPやPK現象の起きることが分かりました。ちょうどアカシックレコードのようにヴァンアレン帯が情報のクラウドになりエネルギーの供給源にもなっているようです。講演では実際に計測し

たいくつかのデータをご覧いただきご討議いただきたく思います。

※志賀一雅氏はご自分で開発された脳波測定器で永年、多くのスポーツ選手、芸術家、瞑想家、能力者の脳波測定をされ、その独自の分析により、多くの発見をされ、論文も書かれております。また多くの有名な企業のスポーツチームのメンタルトレーニングにも貢献されております。気さくでお話も大変分かりやすい先生ですので、会員の皆様はご友人、知人をお誘いして是非ご参加ください。

◎志賀一雅氏のプロフィール

1937年 東京生まれ

1961年 電気通信大卒 松下電器入社

1976年 東大工学部計数工学科でα波研究

1983年 松下電器退社 脳力開発研究所設立

現在 日本サイ科学会理事、日本医療催眠学会顧問。

著書 奇跡の《地球共鳴波動7.8Hz》のすべて(ヒカルランド)他多数

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(8/10受領分まで)

金二十五万円也 匿名様

金十万円也 森安 政仁 様

金一十千円也 信太 民久 様

※2021年9月1日に、九州日本サイ科学会の会長は森安政仁氏から、伽羅氏に引き継がれました。

九州日本サイ科学会 新会長就任のご挨拶

前九州代表森安政仁様より引き続きさせて頂きました新任の伽羅(きやら)と申します。まだ、日本サイ科学会を存じ上げてから日が短く右往左往することばかりではございますが、前代表の森安様や日本サイ科学会の事務局長をはじめ皆さまの温かいご指導のもと、一歩一歩進ませて頂いております。いつもサイジャーナルを楽しみに拝見しておりますが、このよう

な記録を残せるということは、これから様々な体験をするであろう潜在的な未来の方々にとっての支えとなり希望となり、大変意味を持つ行いであると存じます。



サイそのものを信じる信じない、まずはその入口から人間の思考は自動的な選択が行われるのでしようけれど、人間である誰もが備えている靈性は思考とは全く別の分野で個性を発揮したいという意志をしつかりと持っています。その事に目を背け続けることは不可能であり、一度実感したならば迷うことなくその為に人間は動きます。

本当の生き方本当の自分、その事を一度も考えた事のない人がいるでしょうか。目には見えない世界に触れることは、本来の自分と人間社会で築き上げた社会的思考

とをリンクさせローカルであった視野からグローバルに、更にはユニバーサルに変えていくものとなります。

自身の靈性がいつまでもローカルなままでは満足できない事を私たちは知っています。それらと繋がる一つ一つの実感が幸福であると存じます。それらの意志を共に持ち、共に話せる仲間と出会うことは私にとって最も大きな喜びであり幸福なのです。皆さまと共に日本サイ科学会を盛り上げる者としてお役に立てましたら幸いに存じます。

また、微力ではございますが私の靈に対する経験がサイ科学のさらなる発展に貢献できます事を願っております。皆さまのご健勝をお祈り申し上げます。簡単ではございますが九州代表就任のご挨拶とさせて頂きます。

九州日本サイ科学会 前会長退任のご挨拶

私はこの会に入会して、たくさんの勉強をしました。

(4頁に続く)

★日本サイ科学会 創立45周年記念大会★

(特別協賛：サトルエネルギー学会)

(日時) 2021年10月23日(土) 10:00～16:40

(会場) 北とぴあ7階第1研修室

(交通) JR京浜東北線王子駅下車徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

(会費) 会員 ¥3,000(含当日入会申込者) 一般 ¥4,000 学生 ¥2,000

上記会費は、予稿集代を含みます。

※サトルエネルギー学会会員は会員会費となります。

<プログラム> (敬称略)

9:30 開場

10:00～10:10 開会のご挨拶 浪平 博人 会長

◎第1部：会員の研究発表(4名)(各20分発表、5分質疑応答／1人)

10:10～10:35 瀬尾 泰範 「CD 100万枚以上セール実績のあるシンガーソングライターの出生チャートの統計的解析(2)」

10:35～11:00 橋谷 誠一 「AMIを用いた外気の客観評価の可能性検討」

11:00～11:25 竹本 良 「サイと宇宙人革命」

11:25～11:50 浪平 博人 「来る時代の激震の本質および対応としての教育改革」

11:50～12:50 昼休み(60分)

◎第2部：シンポジウム テーマ「サイと瞑想」

12:50～12:55 大会委員長挨拶 小林 泰樹 理事

12:55～13:00 司会進行 阿久津 淳(演者プロフィールを順次紹介)

13:00～13:20 小林 泰樹 「光の瞑想法」

13:20～13:40 石川 允朗 「瞑想と呼吸」

13:40～14:00 小林 信正 「特異能力者における脳内活動の科学的研究」

14:00～14:20 伽羅 「初恋と瞑想のサイ」

14:20～14:40 休憩(20分)

14:40～15:00 伏見 真光 「月輪観」

15:00～15:20 石井 数俊 「瞑想は異次元へのアクセス」

15:20～16:30 パネルディスカッション

16:30～16:35 会員優秀発表表彰式 浪平 博人 会長

16:35～16:40 閉会のご挨拶 久保田 昌治 理事長

17:30～19:30 懇親会(希望者：当日受付)

まずはそのことに感謝いたしました。ありがとうございます。

会員の皆様、役員の方々の心がひとつにつながる中、楽しく学ぶことができました。会での経験から、目に見えない世界に気づくことで、誰もが幸せになれる、目に見えない世界で心と心がつながっていれば、お互いに自然と助け合っていけると、改めて信じる次第です。



日常生活でも同じです。

会社、商店、個人においても、世の中の真理はひとつだと思いません。

健康と人との和は人生の宝であり、争いは不幸の始まりとなる。これに尽きます。

命をいただいている先祖、父母、兄弟、そして子どもたち……さらには人生で出会う人々が、互いに許し合い、助け合う。そんな

絆で結ばれた、和やかで笑顔あふれる毎日こそ、健康で幸せな、素晴らしい人生なのだと確信しています。

さまざまな方々に支えられ、心の勉強を続けて40年。

終わることのない真理の追求にあたり、今後も日本サイ科学会の皆様と共に歩める幸せをかみしめると共に、さらに心を磨けるよう気持ちを引き締めてまいります。

◆ ◆ 関西日本サイ科学会 九月研究集会のお知らせ

コロナ禍の深層

講師 井上 正康 M.D

(大阪市立大学医学部名誉教授)

日時 令和3年9月18日(土)

13:30~17:00(13:00開場)

会場 阿倍王子神社参集殿(2階)
交通 阪堺電車上町線「東天下

茶屋」駅下車徒歩5分

・大阪メトロ御堂筋線「昭
和町」駅から徒歩15分

・まつむし音楽堂から阿倍野筋沿いに徒歩10分

会費 会員及び同伴の家族二千元
非会員三千元 学生一千元
終了後に講師を囲む懇親会
会費3500円 定員15名

※参加のお申込みは、関西日本サイ科学会公式サイトの「参加予約」フォームからお願い致します。
<http://ladies.jp/kps/>

医学者として数多くの実績をもつ井上正康氏(医学博士)は、「コロナ禍」に彩られる現代の世相に向けて率直な発言をしておられます。国内外に多大な影響力をもつこの感染症(COVID-19)に、わたしたちは今後どのように対処すればよいのでしょうか。専門的な立場から「コロナ禍の深層」について語っていただくまたとない機会です。皆様方のご参加をお待ちしています。

◎講師のプロフィール

井上正康(いのうえまさやす)氏
大阪市立大学名誉教授、医学博士。大阪市立大学健康科学研究所所長(産業医学)・現代適塾塾長。

1945年広島県に生まれる。岡山大学医学部卒業。インドペルシャ湾航路船医をへて同大学院修了(病理学、医博)。1980年

Albert Einstein 医科大学内科学准教授。1982年Tutts 大学医学部教授(分子生物学)および熊本大学医学部教授(生化学)。1992年大阪市立大学医学部教授(分子病理学)。2011年同大学特任教授(脳科学)、宮城大文学部・副学長。2013年より健康科学研究所所長(産業医学)および大人の学校「現代適塾」塾長。著書に「新型コロナウイルスが本当にこわくなる本」(共著)ほか。

◆ ◆ 関西日本サイ科学会 十月研究集会のお知らせ

数字で読み解くヒトとセカイ、ミライ

講師 難波 双六氏
(言霊予知術宗家)

日時 令和3年10月16日(土)

会場 13:30～17:00 (13:00開場)
阿倍王子神社参集殿(2階)
交通 阪堺電車上町線「東天下
茶屋」駅下車徒歩5分
・大阪メトロ御堂筋線「昭
和町」駅から徒歩15分
・まつむし音楽堂から阿倍
野筋沿いに徒歩10分

会費 会員及び同伴の家族二千元
非会員三千元 学生一千元

講師を囲む懇親会(17:30～19:30)
会費3500円 定員15名
※参加のお申込みは、関西日本
サイ科学会公式サイト「参加
予約」フォームからお願い致し
ます。

ます。

<http://adies.jp/kps/>

「言霊予知術」(ニュートラルポ
イント刊)は通算1万部を超える
ロングセラー、『占いのタネ本』
とも言われています。西洋では、
誕生日や名前のアルファベットを
一桁の数字に還元して占う「ニュー
メロロジ」が盛んですが、日本
では「九星術」がこれに相当する
かもしれせん。「数字占い」を
総じて「数霊(かずたま)」と言
う人もいます。

また暦や風水の占いでは、「陰

陽(いんよう)五行(ごぎよう)説」
の考え方が加わっていることもあ
ります。いずれにしても人の性格
はもちろん、さまざまな現象や世
界、さらに未来を、わずかに9種類
の数字で読み解こうというのがこ
の占いの狙いであることは間違い
ありません。人の名前や地名を数
字に直す方法、数字の読み方、数
字の裏表・などについて解説、
また日付や地名などから、世界の
動向や未来を読み解くテクニック
についてもお話しします。

◎講師のプロフィール

難波双六(なんばすごろく)氏

言霊(ことだま)予知術宗家。

日本ニュートラルポイント研究所
代表。1988年マレーシアを
旅行中、インド人の経営する本屋
で西洋「ニューメロロジ」のルー
ツが日本の天文学(九星術)であ
ることを知りコンピュータソフト
「ナンバースコープ」を開発。実
査(占い)により数千件のデータ
を集積して1992年「言霊予知
術」(ニュートラルポイント刊)を
上梓した。以後版を重ねてい
ゆる「占いの種本」ともなっ
ている。「ダウジング」の分野では、

在米のトップダウザー、故ビル・
コックス氏と協同で日本初とな
る処女水の深井戸掘削(1995
年洲本市、1997年福知山市
六十部)を成功させた。

著書に「ニュートラルポイント
の秘密」(アニマ2001刊)、「直
観と環境テクノロジ」(ビル・
コックス氏他と共著、浪速社刊)
ほか。論文に「言霊の解明とセラ
ピーへの応用」ほか、翻訳(論文)
に「構造(テクトニクス)地震の
性質について」(スコベリン・クラ
シノヤノスク地質学研究所)など。



関西日本サイ科学会
十一月研究集会のお知らせ

マイナスの『気』エネルギー
を防御するには

講師 橋本 和哉氏

(医療法人春鳳会はしもと内科
外科クリニック理事長、医師、
医学博士)

日時 令和3年11月13日(土)

会場 13:30～17:00 (13:00開場)
阿倍野市民学習センター
講堂

交通 地下鉄谷町線「阿倍野駅」
7号出口よりあべのベルタ地下
2階通路を通りエスカレーター
で3階へ

会費 会員及び同伴の家族二千元
非会員三千元 学生一千元
講師を囲む懇親会

会費3500円 定員15名
※参加のお申込みは、関西日本
サイ科学会公式サイト「参加
予約」フォームからお願い致し
ます。

<http://adies.jp/kps/>

普通に生きていたら、知らずと
も何らかの「マイナス(有用でな
い)『気』エネルギーを誰しもが受
けています。自覚症状がほとんど
無い人もいますが、倦怠感などを
感じる人は少なくありません。

スピリチュアル相談に応じてい
るとき「マイナスの気エネルギー
を受けないようにするにはどうす
れば良いでしょうか?」といった
質問をよく受けますが、これに答
えるときはいつも戸惑います。マ
イナスの「気」エネルギーを防御

する方法は、これさえやればOKというものでないからです。

マイナスの「気」エネルギーは多種類です。例えば特定の電磁波や生霊(いきりよう)の「気」エネルギーも含まれますが、その影響をブロックする方法はそれぞれ異なります。つまり、マイナスの「気」エネルギーは、その種類により防御法も異なるのです。ですから、どの程度防御できているのか?も大切なポイントとなります。

マイナスの「気」エネルギーについて、防御の知識がある人は、それぞれの防御グッズを手首、指輪、首飾りなど付けておられることが少なくありません。ただ、それほどの程度、防御出来ているのか?についてはあまり考えたことが無いと思います。実際には3割、4割程度の方が多いようです。

「気」エネルギーとは何かを分かつたらずに人から聞いた知識だけで選んだグッズは、まったく効果がない場合もあります。そのグッズがマイナスの「気」を吸い込んでいれば、そのままマイナスの「気」を受けることもあるようです。そのグッズが100%の防御力があるか?はぜひ検討していただ

きたい大切なポイントです。防御グッズが100%の防御力ある物だと判定されても、大抵は部分的な防御しかできていないことが多く、全身の防御ができていないのです。例えば、上半身だけ、あるいは左側だけとかで全身の防御ができていません。

今回の講座では防御グッズをどのように選べばよいのか?またどのように使えば全身防御できるのか?また、日常よく出くわすマイナスの「気」エネルギーについての考え方、防御グッズの使い方などをお伝えします。また私が実際に使っている防御グッズについても紹介、さらに受講者が持つておられる防御グッズについてもチェックいたします。

防御グッズを既に使っておられる方やこれから防御グッズを求めようと考えておられる方、またクライアント(相談者)からマイナスの「気」エネルギーを受けやすいタイプのセラピストやコンサルタントさんには特に受講をお勧めします。

◎講師のプロフィール
橋本和哉(はしもとかずや)氏

大阪府生れ。大阪大学医学部大学院修了。医学博士。医療法人春鳳会(はしもと)内科外科クリニック理事長。内科、神経内科、漢方などを専門とし、臨床に医療ヨガや気功を取り入れ、独自に開発した気当て診断、天賜気功で原因不明の疾患に対処やスピリチュアルな診療もしている。

神経学会専門医、東洋医学会専門医、内科学会認定医、温泉療法医、NPO癒しと健康ネットワーク理事長、日本サイクソサイ理事、関西日本サイクソサイ副会長、ホリスティックスピリチュアル医学研究会理事。著書に「医師が語る霊障」(創芸社)ほか、医療ヨガに関する書籍多数。

第44回宇宙生命研究分科会

第9回異能科学会議

テーマ ムーンショット

賛否両論鳴る国家プロジェクト「ムーンショット計画」PSIの視点から眺めてはいかがだろうか?

未来科学、PSENCEからの提言!

日時 令和3年12月26日(日)

午前10時～午後4時30分

会場 北とびあ7階第2研修室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

参加費 一般二千元

学生/サイ・サトル会員 一千元

宇宙人 0円(但し受付の要認可)

講師を囲む懇親会

会費3500円 定員15名

※事前参加申し込みは不要です。

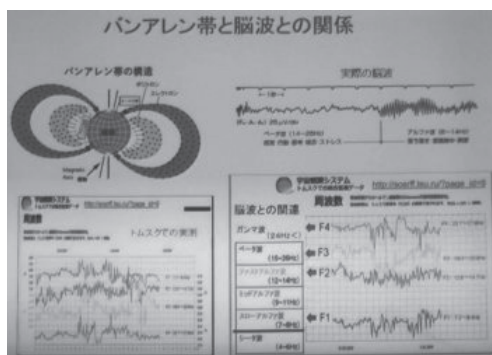
※当日会場にて直接、現金にて参加費をお支払い下さい。

(世話役 阿久津 淳)

令和元年9月本部例会報告Ⅲ

脳波とヴァンアレン帯のプラズマ振動との共鳴について

講師 志賀 一雅氏



図の右上の波形は、実際の脳波であって、横軸が時間軸で縦軸はエネルギー、強さとなっております。左下の電磁波の波形は横軸は時間軸ですが、縦軸は周波数となります。周波数の変動を見ますと、 f 分の1揺らぎになっております。自然界の変動は f 分の1揺らぎが通常で、それに合ったような変化だと我々人間も自然界の一員ですから、心地良く受け入れやすいのではないかと考えております。地球を取り巻く空間で電磁波が来ますから、その電磁波を受けて脳波が発生したのではないかと思えます。私達が知る限りでは、脳

波が止まってしまうと、「脳死」というように死を意味しますので、生まれてから現在までお互いに生きていくということは、脳波がまったく止まらないで続いているということなんです。その止まらないエネルギーはどこから来るかというと、食べることによってエネルギーを補給するというのもありますけれども、世の中にはまったく食べない人もいますので、空間からエネルギーを取り込んでいくのではないかと考えられます。

取り込むときに電磁波と脳波の周波数が揃っていれば、チューニングされて取り込めますので、それで我々は生きているのではないのかな、という感じもしております。これは大胆な仮説なのですが、地球は非常に恵まれた状況、すなわち大きさといい、太陽からの距離といい、あるいは地盤の強さといい、そういったものの全部に関わって、こういった電離層が来たのです。

こういった電離層は月にも無いし、おそらく火星にも無いだろうというところからいうと、ひよっとして月とか火星にはどんなに調べても、その土地から地球のように

鉱物でいえば結晶となる水晶とか、ダイヤモンドとか、そういったものは発見されないのではないかと、というのが想像されるのです。地球上にあんなにきれいな鉱物、宝石がある、あるいは植物とか動物が発生したというのは、ヴァンアレン帯の振動から来るのではないかと思えるのですね。



幸い小惑星リュウグウに「はやぶさ2」を飛ばして、その岩石を採取して来年(2020年)12月に還ってきますね。その取り込んだ岩石の中に地球とそっくりさんの結晶があれば、私の考えははなから捨てなければなりません。多分無いだろうと期待しております。

上図の右下の脳波の周波数分類

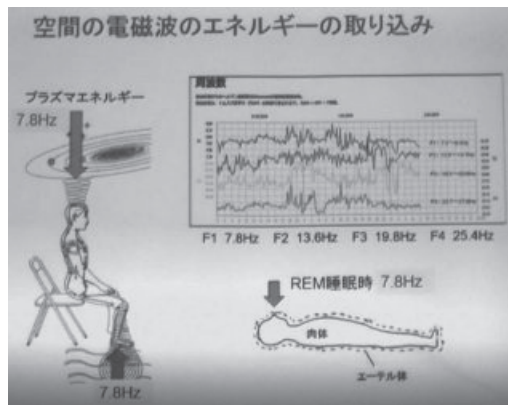
で「ミッドアルファ波」の周波数と同様のヴァンアレン帯の周波数にギャップがあるのですが、このギャップのあるところの隙を突いて脳が活動するのが、人間の知恵の脳波だと考えられます。

人間は素晴らしい文明を築いたのですが、行き詰まってきたのは、自然の知恵をまったく取り込んでいない環境を造り出してしまったということ。まだ間に合うので、気付いてときどき瞑想しましょう、ということになっていくのでしよう。

取りあえず、私の期待はヴァンアレン帯から来る電磁波の周波数が4つだけはっきり分かっていますので、この振動に基づく地球上の鉱物でいえば結晶ができるとか、植物がなぜ発生したかということも、多分ヴァンアレン帯からのいろいろな揺さぶりにより構成が起きたのかもしれないし、動物の発生もまた揺さぶりから来たのかもしれないことは、想像ができますけれども、検証はできません。

逆に今現在我々が生きている状態で、脳波が測れますし、後で紹介致しますけれど、生後2ヶ月の

赤ちゃんの脳波も測れます。赤ちゃんの脳波と大人の脳波がどう違うのか、老人の脳波とどう違うのかを見ていったときに、生命が発生した段階でどういう振動が予想できるか、というのは議論できるかもしれません。



そこでこれも実際に測定してこようだと証明したいのですが、まだ想像の段階です。私たちが実は寝ているときの脳波を随分測りました。そうすると、よく言われているレム(REM)睡眠というのが、周期的に起きるんですよ。なぜか分からないのですが、目玉が早く

動く(Rapid Eye Movement)ことから命名されております。

レム睡眠のときの脳波をずっと見ますと、上図の右上4つの波形の重なりとなります。だいたい90分周期でレム睡眠は現れるということ、私自身の睡眠の脳波を何回も測っております。レム睡眠は5分から10分位の間で、上図のような脳波になるのですね。ということとはレム睡眠のときに空間と共鳴して、ヴァンアレン帯のエネルギーを取り込んでいるのではないかと、そして取り込んだエネルギーを、約90分後の次のレム睡眠まで脳が分配している、と勝手な想像をしております。そしてまた次のレム睡眠時にエネルギーを取り込んでいる、だから睡眠は大事なんだということになるのかもしれない。

私を含めてほとんどの人は、日中は7・8ヘルツ、あるいは13・6ヘルツの脳波はほとんど出まません。では何が出るかと申しますと、10ヘルツ中心の人間文化の情報処理の脳波状態です。

ところが、中に「えっ」という人がいるんです。「えっ」という

人の脳波を測ると、7・8ヘルツがすごく出ているのです。

「えっ」という人は例えば、こちらでも講演されたことがある、不食の弁護士秋山佳胤氏です。約3年前に私がお会いしたときは、まったく食べませんし、水も飲まないのです。それで弁護士の仕事をされていて、しかも趣味としてはマラソンだそうですね。走るんですよ！最近人気ですから、あちこちから呼ばれて講演されました。やあ、もうすごい熱弁を奮って、会場は皆笑うんですけど、ご本人は汗を一杯かいております。

でも水は飲まない、ものは食べないというので、会場から質問がありました。問「おしっこはしますか?」答「しますよ!」問「うんちは?」答「しますよ!」食べない、飲まないでどうして出るのか? 秋山さんはエネルギーはプラーナからとっていると言っていますが、そう言われると参っちゃいますね。水については、空気中に水分は一杯ありますから、皮膚の細胞から吸収して、血液に水を送れば補えるので、水は飲まなくてもいいかもしれません。

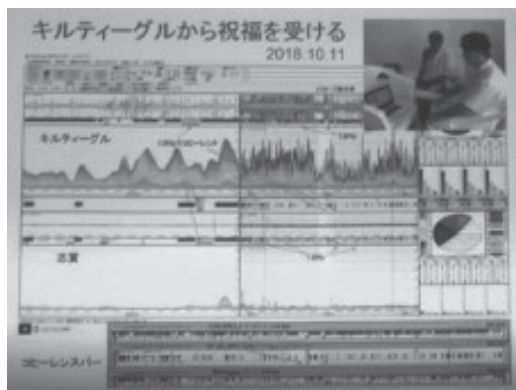
また他の事例では、睡眠時間が最近1日30分になってしまった人がいます。私がお会ったときには45分と言っておりましたが、まったく眠くもなくて日中元気で活動していて、その睡眠時間ということでした。

その方(堀大輔氏)も先の秋山さんも8年間その生活が続いているそうです。1、2ヶ月の修行ということではないのです。その方たちの脳波も測らせていただきました。7・8ヘルツが強いのですね。つまり、空間から一杯エネルギーを取り込んでいるのですね。私が思うには、せつかく秋山さんや堀さんがいるのですから、本当に生理学上の研究の知見のある人たちが、二人を被験者にして研究したら、今の栄養学とか生命維持の常識は、(我々はその基に生きてるので)それはそれでいいのですが、もう少し枠を抜けて、こういう人たちも存在しうるのだということも研究すれば、飢餓状態が解決できるかもしれませんし、今盛んに、熱中症を防ぐために水を飲みなさいと言われておりますが、秋山さんは熱中症になっていないのですね。我々の知識は

間違っていないのですが、変に偏りすぎています。もうちょっと幅を広くしたらいいのではないのでしょうか。

そういう変わった方々の脳波を測定しますと、日中は7・8ヘルツの脳波でエネルギーを盛んに取り込んでいます。ですからものを食べなくても仕事は出来ますし、マラソンも出来る、ひよっとして地面からも7・8ヘルツのエネルギーを取り込んでいるのかもしれない。

それに追加して他にどういう人がいるのかご紹介しますと、昨年(2018年)インドのジャイナ教の占星術師バブルジが来日したときに、私がお会いして脳波の研究をしていることを告げましたら、にわかに興味をもっていただきました。ジャイナ教の最高聖者に会わせるので、インドに来いと呼ばれました。10月にジャイナ教の最高聖者キルティグル(91歳)にお会いできました。聞くとここによりますと、この方は相当昔からまったく食べませんし、寝ませんし、盲目だそうです。



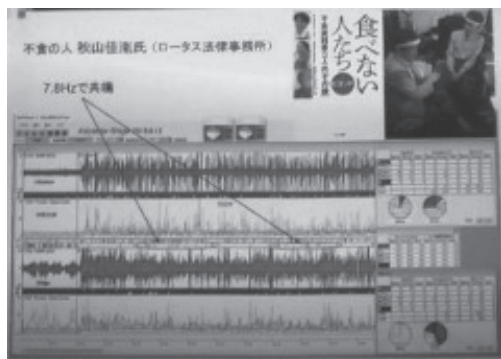
キルティグルの元で大勢の信者が集まって来て、祝福を受けるのですが、私も祝福を受けました。そのときのキルティグルと私の脳波を測定したのですが、私は普段結構アルファ波が出るほうなのに、キルティグルの脳波の測定レベルで表示しますと、断然低く表示されます。ただ中味はキルティグルからの7・8ヘルツの脳波に共鳴して、私の脳波も7・8ヘルツがかなり出ております。初めてお会いしたのは7・8ヘルツが出ているのは、共鳴するメカニズムがこの場に存在するの

だと思えます。

実はキルティグルの脳波にはいろいろな周波数の脳波が混じっているのですが、先ほどのヴァンアレン帯の7・8ヘルツ、13・6ヘルツ、19・8ヘルツ、25・4ヘルツが含まれております。だから食べない、寝ないのです。

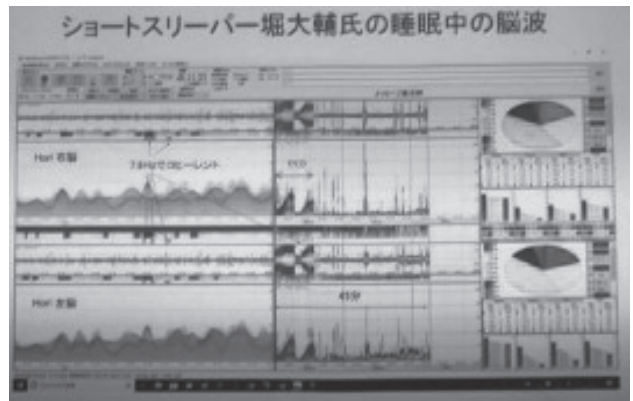
私は7・8ヘルツの脳波がすごく出るようになったので、うれしくなって「超人になれるかな」と思ったのですが、ホテルに帰って測りますと、まったく出ないのです。つまり、このキルティグルのいる場に出るといふことなんです。2つ考えられるのは、心理的な影響、すなわちにわか信者で畏れ多いですから、やはり丁寧に扱うという心が出しているかもしれない、または実際に影響を与えているのかもしれない。

それから先ほどご紹介しました秋山佳胤氏と私の脳波(下図)ですが、しゃべっている間中、ノイズが一杯出ますが、その中に隠れて7・8ヘルツが一杯出て、共鳴しています。したがって秋山さんと一緒に過ごすだけでも、結構7・8ヘルツの脳波が誘発される



と思います。

次の図は、ショートスリーパー堀大輔氏の45分の睡眠中脳波です。真ん中辺り、11分間ものすごく凝縮されたレム睡眠が出ています。私たちが6時間から8時間かけて取っているレム睡眠を11分間でまとめて取っている感じなんです。だからこれ以上寝なくていいんだということなんです。これを見て私が堀さんに、45分睡眠でなくて、30分睡眠でもいいんじゃないかな、と伝えましたら、今は30分になったそうです。



第四五九回関西日本サイ 科学会研究集会報告

『聲』の効用について

～発声のメカニズムと健康～

講師 文珠 敏郎氏

(医学博士、耳鼻咽喉科音声臨床医)

講師 森本 まどか氏
(音声訓練士、ソプラノ歌手)

日時…令和3年6月19日
会場…まつむし音楽堂2F

これらの皆さんの脳波は、ヴァンアレン帯の4つの周波数帯に属しています。
また生後2ヶ月の女の赤ちゃんの脳波を測りました。これは本当に感激したのですが、右脳と左脳の脳波がずっと完全に重なりませんでした。そして7・8ヘルツ、13・6

ヘルツの周波数で強く共鳴しておりました。

え致しました。
進行は和田高幸（KPS会長）が担当。

役者や音楽家、アナウンサーなど「声」を使う職業は少なくありません。多彩な表現力を担う「声」は、身近でありふれた存在とはいえ、さまざまなコミュニケーションにおいて重要な役割を果たしています。それだけに疎かにはできないのは当然ですが、実はわたしたちの「健康」とも大きくかわわっているのです。きょうは専門医の講演をおして、「声」、あるいは「発声器官」について、さらに見識を深めていただきたく存じます。

旧字で書くと、『聲（こゑ）』には「耳」という字が入っています。声と耳はセットになっているのですね。耳は常時ひらいていて、目のように閉じることはできませんが、音声を聞き分ける能力には長けていて、ちよっとした不調や変化でも読み取ってしまうようです。もちろん自分の発する声も的確に聴き分けているにちがいません。

発声という行為は、口や喉はも

ちろんとして、耳や呼吸器官、循環や神経・内分泌系など、ほぼ全身と関連しています。したがって、正しい発声により、体調が改善されるといったこともあるでしょう。加齢にともない声帯やノドの機能が衰えてきますが、トレーニングにより難聴や誤嚥性肺炎など、病気の予防ができそうです。

きょうは、医学における「声」の専門家と音楽における「声」の専門家といった二つの立場から存分に語っていただき、声のトレーニングについて、さわりだけでもご指導いただけるよう画策していきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

◎講師のプロフィール

文珠敏郎（もんじゅとしお）氏
医学博士。耳鼻咽喉科音声臨床医。昭和11年、大阪市に生まれる。昭和37年大阪医科大学卒業、京都大学医学部耳鼻咽喉教室入局。京都大学医学部付属病院、天理よろづ相談所病院、近畿大学医学部付属病院に勤務後、大阪市阿倍野区で文珠耳鼻咽喉科医院・音声クリ

後半では音声訓練士・森本まどか氏らヴォイストレーナーにより正しい姿勢と呼吸法についての実技指導、また声の悩みにもおこた

ニツクの診療に35年携わる。閉院後、南大阪音声クリニック(小文式音声訓練研究所)特別顧問として後進の育成、また「声の相談医」として音大でも教鞭をとり、プロ、アマを問わず、声の悩みの解決に尽力している。著書に「声の悩みを解決する本」(現代書林)「大切な声を守り続ける本」(同)など。

森本まどか(もりもとまどか)氏 ソプラノ歌手。音声訓練士。大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業。朝日推薦演奏会をはじめ、イタリアのベスカーラ、フィレンツェ、オランダのコンセルトヘボウほか国内外の演奏会に多数出演。「こうもり」アデーレ役でデビュー、その後「メリー・ウイドウ」ハンナ、「カルメン」ミカエラ、「マリツア伯爵夫人」マリツア、「ほほえみの国」リーザ、「ウィーン気質」ガブリエル役で出演。第28回香川音楽コンクールでは「声楽部門第3位」、日本歌曲部門第2位。「日本歌曲全集第9集」、ヴォーカルアンサンブル「ノスタルジア」ファーストアルバム「心やすらぐ時を求めて」などCDリリース。

ース。関西歌劇団正団員。関西歌曲研究会、日本演奏連盟各会員。

コーディネーター・和田高幸 関西日本サイ科学会会長、元産経新聞記者。インターナショナル・フリードリヒ・クラウ協会会員。論文に「音楽療法概論」(NPN S)、著書に「ニュートラルポイントの秘密」(アニメ2001)、「直観と環境テクノロジー」(浪速社)ほか。

主催・関西日本サイ科学会/協力・小文式音声訓練研究所

第四五八回関西日本サイ科学会研究集会報告

※コロナ禍で令和3年5月15日から日程変更された講演です

政木「磁気治療器」の現在(いま)〜政木和三(まさき・かずみ)先生(元阪大工学部工作センター長)とのご縁に始まった私の現在

講師 北野 幸治氏

日時・令和3年7月17日
会場・阿倍王子神社参集殿

関西日本サイ科学会がスタートした1970年代後半から80年代初頭の研究集会では、自動炊飯器や湯沸し器、エレキギターなど数多くの発明品を世に出した政木博士が毎回参加しておられました。発明品の一つとして知られる「超強力神経波磁力線発生器」は3万台を超える大ヒットとなったものの、宣伝文句に効能が謳われたことが法に触れ、お蔵入りになっていました。

しかし復活を望む声が多く、今回の北野講師が当時の製品そのままに復刻されたのは朗報です。初代発売時から政木博士とともに製造販売に携わった北野講師の実父や鐺射寺の中村和尚のお話など、サイ科学会ならではの内容になることが期待されます。

講演内容

日本家電の父(生みの親)とも呼ばれていた天才発明家、政木和三先生の元を昭和5年(1930

年)生まれの実父が小学校の高等生(5年生)の頃より先生のご実家へ通い始めたのがご縁のはじまりで、実父が平成5年(1993年)に起業独立する際、先生が人生の集大成として発明された「超強力神経波磁力線発生器」製造のお仕事を賜わり、私自身も阪神大震災のあった平成7年(1995年)より合流、当時の林原生物科学研究所内にあった政木研究所の政木先生と先生の奥様とともにその機器の製造販売に従事させていただきました。

そんななか、平成10年の薬事法改定により、病気が治癒するという類いのパルス波の磁気を発する機器(正弦波の磁気は家庭用磁気治療器として許認可OK)の製造販売が認められなくなり、機器を「リング」という名に変更(命名は私)、そして、機器内部をアナログ回路方式よりデジタル回路方式へと変更し、水とお酒が美味しくなる機器という宣伝文句に変え再度製造販売を試みるも、やはり水面下にて病気治療を謳った裏の宣伝等々が仇となり、政木先生とともに実父も逮捕され、政木先生とはご病気発症のため不起訴処分と

なりましたが、実父は先生の身代わりになるのだ！と薬事法違反の刑に処せられました。

その後、先生が他界され、実父は過去に3万5千台近く販売された機器の修理対応のみ従事していましたが、2010年に私が脱サラをしたのを機に、政木先生と父親の名誉回復のため、また、ユザーの方々からのご要望も多く寄せられていたので機器の復活を決意しました。

自己紹介にあります通り、政木先生のかつてのお仲間の方々からの有り難きご協力もあり、ブログやYouTubeの運営を含め機器の復活を目指して起業しました。

その後、実父が2019年7月1日に他界しましたが、様々な出来事による必然の流れにより、この2021年3月頃より本家本元であるアナログ回路式復刻版磁力線発生器を復活させるに至っていません。様々な表沙汰に出来ない不思議な現象や体験はもとより、人生の学び等々を現在のお師匠様である煎茶道黄檗賣茶流（おうばくばいさりゅう）中澤弘幸先代御家元や保江邦夫先生より親く賜わっている昨今ですので、その旨、政

木先生、鐮射寺の中村公隆先生、現在のお師匠様、保江先生等々、諸先生方のお教えや現段階・現時点で私が総合的に学び感じ実践してきた宇宙の法則について皆様へお伝え、ご紹介出来れば幸いに存じます。（講師記）

◎講師のプロフィール

北野幸治（きたの こうじ）氏

1967年大阪府豊中市に生まれる。政木和三先生（元大阪大学工学部工作センター長）の著書に記されたお教えを2013年3月頃よりアメンバーブログへ日々一日も欠かさず無償で掲載を継続しています。私の軸となる根本の仕事は、政木和三先生が発明された「超強力神経波磁力線発生器」の製造販売（完全アナログ復活版）です。

2014年に鐮射寺（かぶらいじ）の中村公隆先生より『2015年の春先から、日本が世界の雛形として始動する』という御言葉を頂戴したのを機に、今の私のお師匠様（煎茶道黄檗賣茶流中澤弘幸先代家元）と出逢い、そのお仲間内（門下）のおひとりである保江邦夫（やすえ・くにお）先生と

の出会いにより現在に至っています。日本が世界の雛形となるべく、世のため人々のために、微力ながらそのお手伝いに携わらせていただければ幸い、と現在のお師匠様の下で日々学ばせていただいています。

健康で長寿の生き方

九州日本サイ科学会前会長

森安 政仁

・健康とは、体と心と霊の三者の関係が調和状態にある時
・頑固がストレスを呼び、病気になる
・物事に集中すると健康で長寿でいられる

世界中の人は、皆この世に修行に来ているのですから、若い時、中年、老後まで人生の勉強をしていると思います。昔から言われているように、若い時、他人の所で人生の修行をするのが良い。中年までの修行はいいが、老後の修行は大変になります。私の相談の中

から気づいたのは、三代目になると、言葉はうまいのですが、野菜、果物と一緒に温室育ちの人は、一回挫折すると立ち直るのが大変なようです。

私の経験では、おぼっちゃま、お嬢さまで育っている人が、老後の苦労が多いように思います。昔の諺通り、若い時世の中に出て人の痛みや思いやりの大切さを勉強することが大切です。

私の信仰の原点となるのは、40年前に志岐先生より教えて頂いた、人を憎まない、人から憎まれない生き方こそ健康の証だということでした。40年経ってもそれを実行した人は健康で生活しています。そして家庭の調和が大切だと思えます。父親と母親に親孝行すると幸せが沢山あると思います。

若い時から争いばかりしていると、老後で幸せはないと信じてます。そして、世の為、人の為に徳を積んだ先祖のいる方、若い時から社会に奉仕している人が、店に来ると、お客を沢山呼んでくれると私は確信しています。

ここ10年間の勉強で確かめたのは、会社でも個人の商店でも、組

し、力学変形に重畳する状態で、PK変形が進行している。0.07% C軟鋼板で、熱処理は真空中の焼鈍。99.99% Al圧延材、真空中焼鈍材。何れも多結晶体である(サイ科学、Vol.1, No.2, 1976、等参照)。PK変形の特長は、階段状変形のある事で、負荷時の階段状並びに除荷時の過度の戻り、これ等は通常の力学変形には無い現象である。つぎに硬さ変化をみる。熱的には最も安定な焼き鈍し材にサイ(気)を作用させると、より柔らかくなるこれは、サイ(気)が極小粒【光子対】なので結晶粒内の原子を素通りして結晶粒界に達し、結晶粒界にあるヒズミを緩和することによるのだろう。

このことは、応力ヒズミ曲線にも現われてる。つまり、変化曲線のサイ(気)による異常性にも、同一現象(軟化、硬化)が現れている。このことは、さらに破断面にも表れている。つまり小範囲の切断面内に延性波面(デンプル)と脆性破面(ブリットル)が多数表われている。以上、サイ(気)を作用させたときの多結晶材料に現れる異常性は、サイ(気)が極小粒であること、ならびにサイ(気)自体がヒズミを除去

する性質がある為であると判断できる。なお、この現象は、日本の少年たちの念力の場合には「+30%【硬化】～-30%(柔化)程度」であった。

「念写と透視」現象は、2010年に福来友吉博士によって発見された。先生は、「念」は願いをもったエネルギーとして時間や空間を超えて宇宙全体に広く充満していると主張した。つまり意識の一部は体外に放出されて、「念」として機能している。量子脳理論で著名なロジャー・ペンローズ(英、1931～現在)は、2020年度のノーベル物理学賞を受けた。そして、「意識は原子の振舞いや時空の中に、すでに存在している」と説明した。これは、福來說を理論的に確認したものとも受け取れる。著者らは、2021年に意識(ASC下)と物質の関係を提案した(次号参照)。

(注記)本研究に先行して宮内力、福田豊、両先生の「光湧きだし」実験がある(清田益章氏対象)、ご指導戴いた品川次郎先生に御礼申し上げます。

織の長たる人がうまく調和を作ったところが良い方にくというところです。

健康で一生を過ごす。その秘訣は人間関係をいつもありがとうの気持ちで過ごす生活だと思えます。いつも穏やかできれいな心で、神と先祖に感謝し反省することが必要です。このように祈りのある生活が大切です。

そうすることで寿命は伸び、自分や子や孫に徳が伝えられると思えます。このような生き方こそ何代も続くことになるでしょう。何代も続いている家庭では、地域に奉仕し、子どもに正しい生き方を教えていると私は思います。

20年来の友人が警察の署長時代、2年間死亡事故が0であったのですが、署長が替わったら、すぐ死亡事故がありました。これこそ徳を積んだ人の証と思えます。

商店でも会社でも、同業同士で単価で競うのではなく、その会社、商店の生き方こそ大切だと思えます。徳のある「会社、商店」と「会社、商店」同士が取引して

いると、このようなコロナ時代でも、目に見えない世界で応援されるでしょう。

病気の原因は、80%位は自分の心の想念が悪い方に怒り、憎しみ、妬みをもつことと共に、相手からの悪い想念が来ることで、体に不調が来たら、そのことに早く気づくことが大切だと思えます。この状態を長い年月続けていると、先祖からいただいた肉体の弱いところが病気になるがちです。

頭痛、腰痛、しびれ、肩のこり、目の充血等、いろいろな不調がきます。相手が分かたら、その時早く相手に詫びることが大切だと思えます。

これまで40年間、全国縁のある人を助け、自分も勉強させていたできました。心から感謝申し上げます。



いる原始仏教の經典の一つに法句經がある。

その最初に、

“意(おもい)は諸法(すべて)に先立ち、諸法(すべて)は意(おもい)に成る”

と説かれている。釈迦はこの言葉で、ここで言う統一への流れを指摘されたものではなからうか。誠に、人がこの世で最初に立ち上げるのできるものは意(おもい)であり、これこそ秩序を創り出す創造の働きの原点である。その意(おもい)は明らかでありたいものだ。

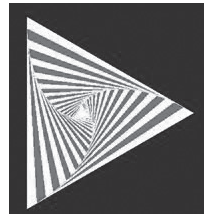
さて我々の住む現実の科学の世界に目を移すと、“統一への働き”の流れはIT という便利ではあるが(恐らくは)手に余る技術を創り出してしまった。その技術は我々の行動につきものの時間・空間に関する制限を取り払ってしまった。たとえばロンドンの出来事を知るのかかった時間が年単位から月単位さらには日単位となり、ついには瞬時となってしまった。社会から時間の制限が消えたのである。同じく場所の制限も消えてしまった。この変化は、視覚の利用が発明されたカンブリア紀にも例えることができるのではないか。ご承知のように、カンブリア紀には生物進化の大爆発が起こった。同じような激動がこれから起きるものと推察できる。

“何事もまず意(おもい)が先に立つ”というお釈迦様の言葉に従い、これから予想される変

化の大波に対し役に立つように、私は今、自分の想いを込めてオンライン大学校の立ち上げを企画している。激動への対処に最も気を付けることは、現にある思い込みへの固執に気づきこれより離れることである。大学校の内容は、新しい気付きの方法とその気付きを具体化する基礎力の涵養としてある。何もない所に新しい意(おもい)を建てるという作業に直面して初めて、命の統一へ向かう働きを実感している。

結語：

確率論のランダムウォークの考察で、混沌は2つの異なった方向の働きへ整然と分離することを見出した。これを基に、自然現象に働く法則と命の働きの法則を併せて混沌に帰するという一つの仮説に達した。そこでまた、その法則に則っている自分とは何かという疑問が湧く。世界をこのように意識して眺めている自分がそこにいる。まるで再帰方程式のようである。その自分を眺める自分は集合意識ではなからうか。私は何かの視線を感じる。



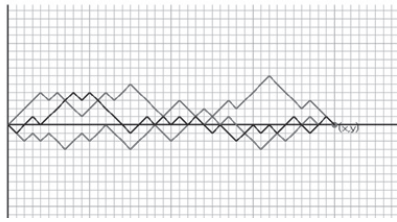
意識が物質化して、物質の作用を助けている

栗田 慶祐

脳波の周波数を下げた変性意識状態(ASC)になり、強く意念する。すると、超常現象(念力、PK)が生起してくる。この時、不思議な事に、「意識(念)が物質の作用を助ける」という現象がおきてくる。もともと、精神と物質は異質であって混ざり合うことは無いはずである。他方、「透視と念写」の原因は、陰陽サイ spin 対【光子群】「略称：サイ(気)」の作用であることが判明した(佐々木、佐藤、2018年)。サイ(気)は、変性意識状態(ASC)に入った能

力者から体外に放出され、意識体を形成する。このサイ(気)が、物質としての「【光】現象」ならびに「金属(鉄、アルミ)変形現象、硬さ」に対して、どの様な変化を与えるかについて、検討した。(物質としての)電磁波(ON、OFF)と、(意識体としての)「サイ(気)」の関係をみる。

電磁波とサイ(気)は光の一種なので、相性が良い。両者の間には単純な加算則が成立している。他方、一例として、金属を見る。金属の降伏点付近が念力(PK)の発生点に相当



最後は軸に戻るパス

直観的には、軸を切らない散らばったパスの方が圧倒的に多いように見える。多数回の自由な徘徊の末に最後に元に戻るパスは制限的に思える。大方がこのように感じる。しかし驚くべきことに、実は両者の数は同じなのである。これは、理論的に厳密に証明できる。

問題を詳しく述べると、次のようになる。

「 $2n$ ステップのランダムウォークの最終点での結果を分類する。最終点での位置は2つに分けられる。

- (1) x軸上にないパス
- (2) x軸上に戻っているパス

当面のパスの長さは $2n$ ステップに限る。この条件での(1)の散らばったパスの中の、パスの途中で一度でもx軸に触れたもの(それらは純粹にいつも同じ側にいたものではないパス)は、触れたところで新しいパスが始まるので除外される。すなわち(1)は $2n$ ステップで一度もx軸を切らないものに限る。

混沌としか見えないランダムな動きが、一度も軸に戻らない運動(これを拡散と呼ぼう)と最後は規則的に元の軸に戻る運動(これを統一と呼ぼう)の反対の性格を持つ2つのものに分かれるのである。しかも、1対1で。

この数学的事実から、私は次のような気づきを得た。

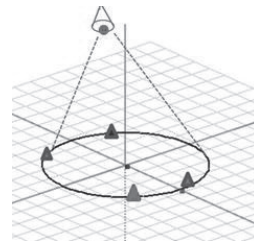
「我々の周りに認められる2つの反対方向の働き、すなわち物理的な拡散運動とバラバラな状態をまとめて秩序に向かわせる命の働きは、もともと宇宙にある混沌という実在から分離したものではないか。すなわち混沌という一つのものが、物理の法則と生命の働きの2つに分かれたのではないか。

混沌=物理の拡散法則+生命の統一の働き」

このように考えれば、2つの真逆の方向の働きが実世界に混在することが理解できる。最初

の生命が具体的に如何なるプロセスにより出来上がったかは未だ深遠な謎である。しかしこの統一の働きという根本原理を、今述べたように混沌に由来すると解釈することは可能ではないか。

この理由付けを是とすれば、人の気づきや創造のメカニズムの背景が非常にクリアになる。気づきとは、なにか類似性があると感じられる多様な事柄の中を貫く核心の発見である。その核心の発見への経緯は、途中までは理屈で追っていけるが、最後のステップでは飛躍が伴う。類似性を持つ多様な事柄の認識とその布置は、喩えで言えば、同一の平面上に散布しているがごときものである。これをその平面と同じ目線で見ると、全体をつなぐ隠された統一性は見つからない。その平面を拡張して平面を離れた視点に立ってのみ、新しいものが見つかる。この瞬間の飛躍のプロセスは、本然として流れる“命の統一性に向かう働き”に帰すしかない。



気づきにより見つけた新しい核心の展開が創造である。

さてこの“統一への働き”は進化の末、意識を生みさらに自己意識を生んだ。自己意識は物事の合理的な展開の理法に気づき、何かの処理において自分にとりうまい方法の工夫の知恵を見つけるに至った。この合理性の発見は、人類のある面での驚異的な発展の原動力である。しかしながら合理性には、自己意識を持つ判断の主体者自身の利が基準として含まれることは避けられない。ここに我・執着が発生し悪が生じる。聖書に“アダムが禁じられていた知恵のリンゴを食べ堕落が始まった”とあるが、このことであろう。統一の働きの進化の先の自己意識自体に“悪”の根源があることを重く受け止め、慎みを貴ぶ社会にしたいものだ。

釈迦のお説きになったことに近いとされて



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
公式サイト <http://psi-science.org> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

気づき

日本サイ科学会会長 浪平 博人

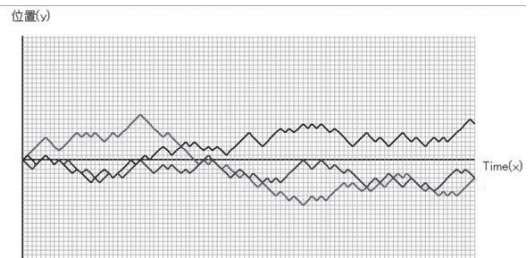
世に自然にあるものは、あまりに当然に思えるがゆえに、特別の契機がない限りその理由を問うことを思いつかない。

私は毎日自分の一日のために朝コーヒーを入れる。それは時間が経てば必ず冷たくなっている。気にも留めないが、理由を問われればそれは物理法則が熱の状態が一様になるように働くが故であることは知っている。

日課の川辺の散歩のたびに、雨を得て草木が勢いよく育つのを目にする。岩の裂け目の思いがけないところからも伸びている。草木が水と光と栄養素という簡単なものから自分を創り上げるということは学んで知っている。

これらはごく普通の事柄である。しかしながら注意してみれば、これらは2つの方向の真反対の原理に支配された現象であることが見出される。暖かいコーヒーの時間とともに冷めるのは秩序から一様に向かう物理法則に従う現象であり、もう一つは、バラバラな素材から秩序を創り出す命の働きである。この2つの異なった働きが共に存在することは疑いようがない。それは見慣れた当然なことであるがゆえに、その理由を問うことは思いつかない。しかし何となくこれを問わないことに私は居心地の悪さを感じていた。

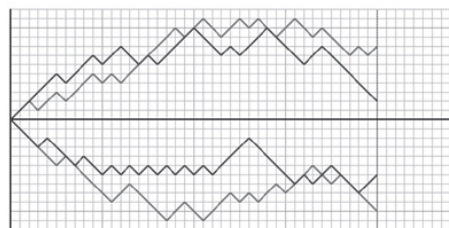
全く別の文脈であるが、確率論の一分野にランダムウォークがあり、これを詳しく考えることがあった。その運動は、時間の進展とともに一定の長さで上下に確率1/2で変化するものとモデル化することができる。次の図は、時間軸を横にその時のランダムな上下の位置を縦にとったそのありえる経過の軌跡である。



中心線は時間軸

多くのステップのとり軌跡(パス)を想像してみよう。それは文字通りランダムで、全体の姿はまさしく混沌の姿であろう。いま上下の位置が0である点が時間に沿って移動するものを軸と呼ぼう。ここで皆様に次の問いかけをしたい。「多くのステップ後に、その軌跡が一度も軸を切らない散らばったパスの数と最後に軸に戻った収束したパスの数とを考える。どちらの方が多であろうか」

比較すべき2つの状態を図にすると、次のようになり、どちらの方が多く起きると考えるかあなたの答えを聞いている。



軸を切らないパス